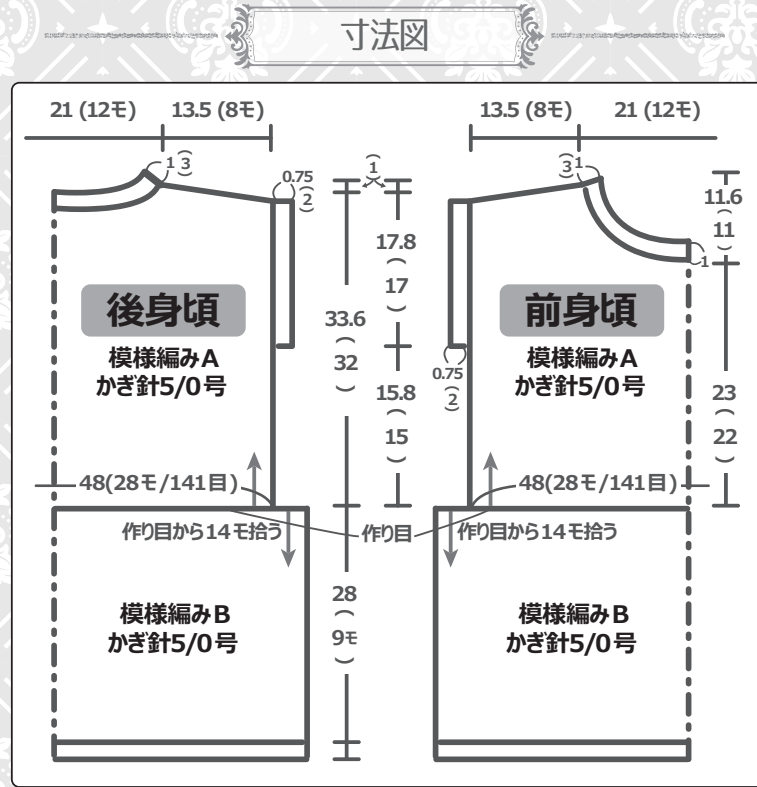


# Papatya Angora で編む、チニツク

編み図記号  
b  
デザイナー 西澤真由美  
2018.10.29



## 用意するもの

- 使用糸 ... Papatya Angora 約 2 玉
- 針 ... かぎ針 5/0 号

## ゲージ

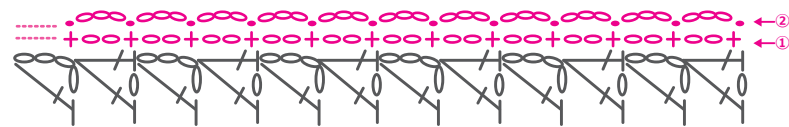
- 模様 A 1モ ... 5目×1段 = 1.7cm×1.05cm
- 模様 B 1モ ... 12目×4段 = 3.8cm×3.1cm

## 編み方

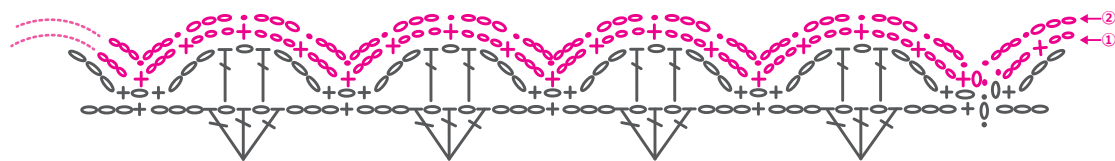
- 1 後身頃を共糸鎖 141 目で作り目し、裏山を拾って、模様 A を 28 模様 × 32 段増減なしに編む。33 段目で、衿ぐりえと肩下がり編み図を参照して編む。
- 2 前身頃は後と同様に編みはじめ 22 段まで増減なしに編む。22 段目から衿ぐりを図の様に減目する。また、33 段目は肩下がり針足調整する。
- 3 前後身頃を、脇は引き抜きの鎖と同じ、肩は引き抜きの鎖はぎにする。
- 4 裾の作り目から模様 B を編む。拾う位置は、1 で模様 A を編む時、裏山を拾った残りの 2 本を拾う。輪にして模様 B の立ち上がりの図を参照に往復編みで 36 段編む。続けて裾の縁編みを 2 段編む。
- 5 袖、衿ぐりに縁編みする。

## 編み図

### 袖縁編み

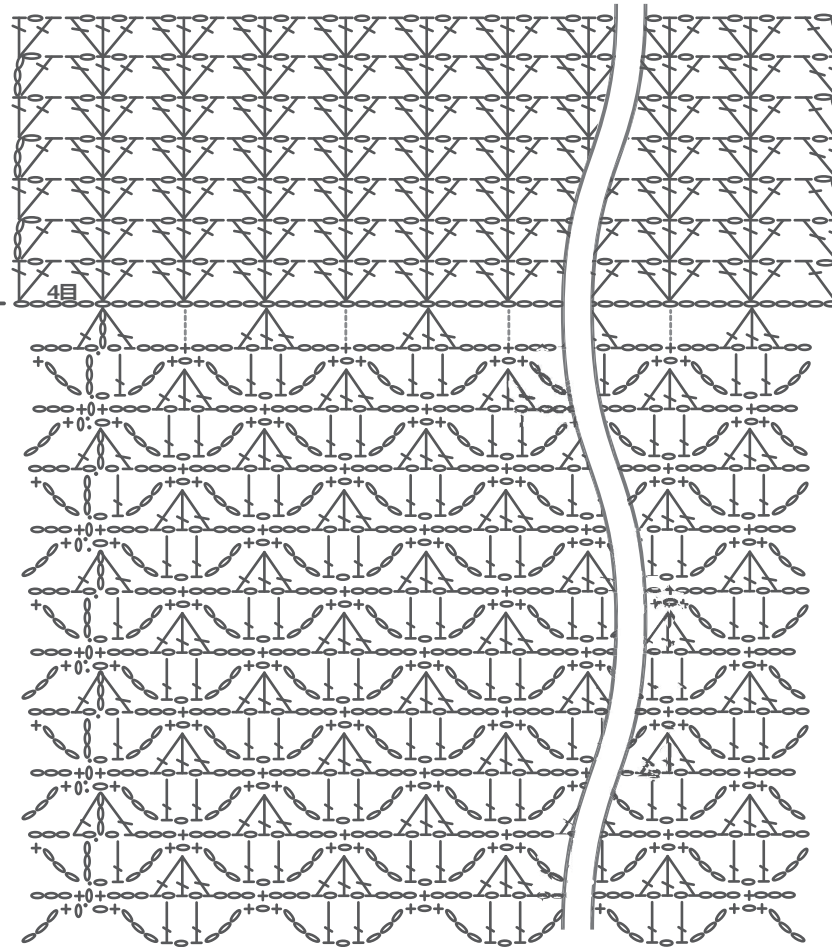


### 裾縁編み



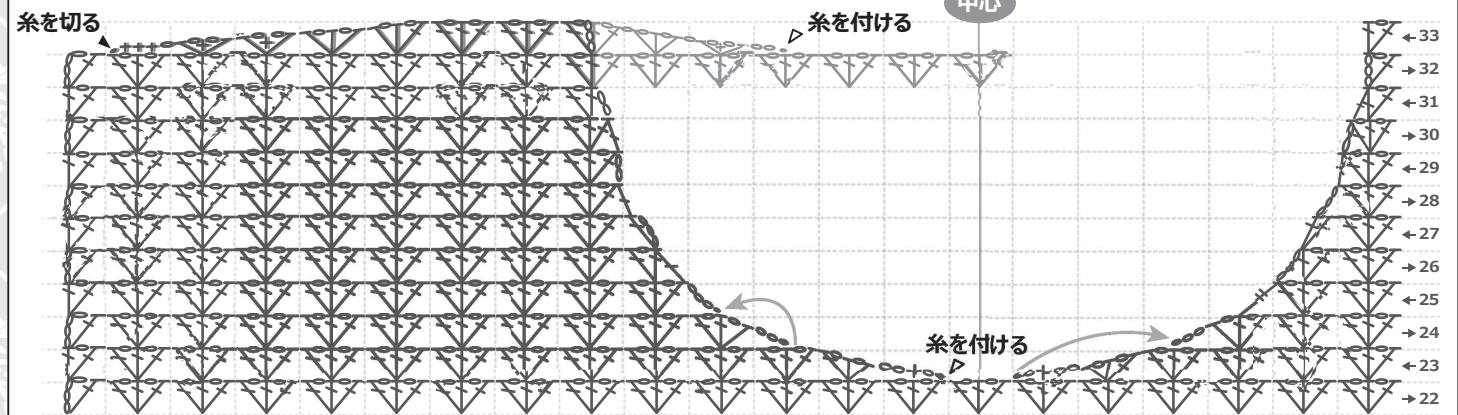
## 模様編み

模様 A  
↑ 編み方向  
模様 B  
↓ 編み方向



## 肩下がり と 衿ぐり

● 編み図記号線色 — 前身頃  
● 編み図記号線色 — 後身頃



## 衿縁編み

